

洞爺湖町 議会だより

No.81

令和8年4月会議

令和8年5月会議

令和8年6月会議

2026.8



主な内容

- P 2～3 令和8年4月会議
令和8年5月会議
令和8年6月会議 議案審議
- P 4～11 一般質問8名登壇
- P 12 議会の動き・編集後記



写真集団洞爺 大口 浩司（山と共に ...）

議長就任の

ごあいさつ



洞爺湖町議会議長

千葉 薫

この度、4月議会で議長に就任し、来春まで1年間の任期となりますが、洞爺湖町議会議長の重責を担わせていただくこととなりました。その責任の重さを深く受け止めております。

洞爺湖町では、少子高齢化に伴う人口減少をはじめ、地域経済の活性化、防災・減災対策など、町を取り巻く課題は多岐にわたりますが、執行機関と健全な緊張関係を保ち、議員一人ひとりが活発な議論を交わしながら、町民福祉の向上と持続可能なまちづくりに向けて、その役割を果たしていく所存です。

今後も引き続き、信頼される議会を目指してまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のごあいさついたします。

令和8年
4月会議

前議長の町長選出馬に伴う議員身分の失職（公職選挙法）に伴い、4月会議（4月17日）を開会し、新議長の選挙の他、付随する議案を議決しました。

【主な議案の審議内容】

選挙

○議長の選挙

千葉薫 議員…当選

その他

○常任委員会等委員の辞任

千葉議長の総務常任委員会委員（委員長）及び議会運営委員会委員の辞任…許可

○常任委員会委員の所属変更

五十嵐議員の経済常任委員会から総務常任委員会への所属変更…承認

※同日、総務常任委員会が開催され、五十嵐議員が委員長に選出されました。

令和8年
5月会議

5月会議が5月15日に開会し、専決処分報告3件、任期満了に伴う選挙管理委員、教育委員会委員や監査委員等の人事案件を原案のとおり可決しました。

【主な議案の審議内容】

専決処分の報告

○洞爺湖町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴う規定の整備

○洞爺湖町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の改正に伴う規定の整備

○令和7年度一般会計補正予算（第7号）

地方交付税額の確定に伴う歳入歳出の増減など

人事案件

○選挙管理委員の選挙（指名推薦）

・小田桐勝太郎氏

（曙）

・奥山洋子氏

（温泉3区）

・福島良一氏

（本町2区）

・片岡一之氏

（本町2区）

○選挙管理委員補充員の選挙（指名推薦）

・順位1 阿久津春幸氏

（本町6区）

・順位2 寺田ゆかり氏

（洞爺第4区）

・順位3 以西水音氏

（成香）

・順位4 竹内直芳氏

（本町5区）

※選挙管理委員補充員は、選挙管理委員に欠員が生じた場合、順位により委員に就任。

○教育委員会委員の任命（同意）

・加賀谷真由美氏

（本町5区）

・越後進一氏

（温泉4区）

○監査委員の選任（同意）
・山口芳行氏
（本町3区）

令和8年 6月会議

6月会議が6月15日から17日まで開会し、令和8年度町政執行方針・教育行政執行方針の説明及び翌年度への繰越額の報告を受けました。また議案8件について原案のとおり可決し、陳情1件を採択、請願1件を不採択、議員提案の意見書2件を否決しました。一般質問については8名の議員が行っています。

【主な議案の審議内容】

繰越に伴う報告

○令和7年度一般会計繰越明許費繰越額の報告

物価高騰支援地域通貨発行事業他3事業 翌年度への繰越額の報告

○令和7年度公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告
虻田下水終末処理場他更

新事業 翌年度への繰越額の報告

条例改正

○洞爺湖町保育所条例の一部改正について

「本町」・「入江」・「桜ヶ丘」3保育所の統合に伴う廃止及び新たに「あぶた保育所」の設置に伴う条例の一部改正（施行日：令和9年4月）

財産の取得

○事務用ノートパソコン46台の財産の取得
取得価格964万円

工事請負契約の締結について

○コスモス団地3号棟改修工事
契約金額7062万円

補正予算

○一般会計（第1号）
歳入歳出それぞれ25122万円の増額
（歳出の主なもの）
・LGWAN回線無線化委託

料 755万円

・事務用デスクトップパソコン40台の購入 714万円

・地域公共交通活性化協議会負担金 582万円

・救急診療体制等支援事業補助金 400万円

・水道事業会計補助金 775万円

・農業用機械導入支援補助金 463万円

・園児用木製遊具作成業務委託料 589万円

・地域経済活性化支援事業補助金 900万円

・支笏洞爺国立公園利用拠点整備計画策定業務委託料 390万円

・温泉源既存施設改修（浚渫）事業補助金 1685万円

・噴水広場遊具修繕料 382万円

・洞爺中央公園トイレ他解体工事 891万円

・珍小島公衆トイレ及び西山散策路公衆トイレ様式化改修工事 993万円

・洞爺小西川改修設計委託料 468万円

・河川浚渫工事 650万円

・防災備品購入費 532万円

・洞爺湖町立中学校制服等購入費助成金 359万円

・虻田小学校フェンス改修工事 1004万円

○国民健康保険特別会計（第1号）

歳入歳出それぞれ529万円の増額

・前年度繰越金を予備費へ計上するもの。

○介護保険特別会計（第1号）

歳入歳出それぞれ492万円の増額

（歳出の主なもの）

・介護保険給付費支払準備基金積立金 1497万円

・介護給付費負担金等返還金 3429万円

○後期高齢者医療特別会計（第1号）

歳入歳出それぞれ624万円の増額

（歳出の主なもの）

・後期高齢者医療広域連合納付金 527万円

○水道事業会計

・収益的収入（他会計補助

金）及び収益的支出（人件費） 775万円の増

陳情

○洞爺湖町議会議員の定数見直しに関する陳情
（洞爺湖町議会議員の定数検討特別委員会 審査報告）

・本会議で採択（起立多数）

○洞爺湖町議会議員現行定数12人の堅持を求める請願
（議会運営委員会 審査報告）

・本会議で不採択（起立多数）

○洞爺湖町議会議員の定数見直しに関する陳情
（洞爺湖町議会議員の定数検討特別委員会 審査報告）

・本会議で不採択（起立多数）

○洞爺湖町議会議員の定数見直しに関する陳情
（洞爺湖町議会議員の定数検討特別委員会 審査報告）

・本会議で不採択（起立多数）

○洞爺湖町議会議員の定数見直しに関する陳情
（洞爺湖町議会議員の定数検討特別委員会 審査報告）

・本会議で不採択（起立多数）

○洞爺湖町議会議員の定数見直しに関する陳情
（洞爺湖町議会議員の定数検討特別委員会 審査報告）

・本会議で不採択（起立多数）

○洞爺湖町議会議員の定数見直しに関する陳情
（洞爺湖町議会議員の定数検討特別委員会 審査報告）

・本会議で不採択（起立多数）

意見書

○イランへの軍事行動の即時停止と外交による平和的解決を求める意見書（案）
（否決）

○全国一律最低賃金制度の導入と最低賃金の大幅引き上げを求める意見書（案）
（否決）

○全国一律最低賃金制度の導入と最低賃金の大幅引き上げを求める意見書（案）
（否決）

○全国一律最低賃金制度の導入と最低賃金の大幅引き上げを求める意見書（案）
（否決）

○全国一律最低賃金制度の導入と最低賃金の大幅引き上げを求める意見書（案）
（否決）

未来をつくる 子どもたちのために

石川 邦子（風の会）



質問 1

新設あぶた保育所の建設に伴う進捗状況と保育所の統合について

問 中東情勢の緊迫化に伴う石油精製品ナフサ等を原料とする建設資材の価格高騰や調達遅延の影響が心配されるが、どのように把握しているか伺う。

答 建設資材の高騰は本事業を遂行する上で、極めて大きな課題であると認識しています。受注業者からは各資材の供給制限や価格改定の申し入れが相次いでいるとの報告を受けており、おおむね10%から40%の価格高騰の影響が生じている状況です。調達遅延の影響については現時点で手配が完了しており工程表に基づき遅延無く進捗しています。

問 契約金額の変更があった場合の対応やその財源について伺う。

答 本工事の請負契約には急激な物価高騰に対応する

ため、物価スライド条項が盛り込まれており、直近の資材価格等の実勢価格に基づいた影響額の精査を行っているところです。この精査結果を反映し、本年9月会議での補正予算の提案を視野に受注業者と協議を進めています。財源については、過疎対策事業債を充当していますので契約変更の場合は、申請を行い財源確保に努めて参ります。

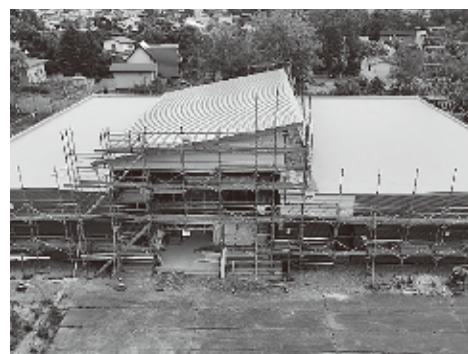
問 保育所統合後の人員配置について伺う。

答 保育士については、配置基準に基づき現場で必要な人員を確実に確保します。

全体の見直しに伴い、正職員の体制は現状維持、会計年度任用職員については現状から10名弱の減少を見込んでいますが、併設する子育て支援センターの充実も重要な課題であり、単なる一律の削減ではなく、保育現場に必要な人材を確保した上で、全体の体制を精査します。早い段階で本人の意向を確認し、可能な限り雇用の場を確保いたします

質問 2

洞爺駅周辺の再整備について



問 基本方針について、いつ頃策定する予定なのか、整備期間や概要について伺う

答 町内の関係団体等の方々との議論の場や住民や観光客を対象としたアンケート調査などを行いながら、今年度中に策定する予定です。整備については3カ年計画で進め、基本目標として①使いやすいつ交通結節点の実施②滞在したくなる駅前空間の創出③地域に愛される交流・観光拠点の形成。このことを目標の

3本柱として位置づけ、進めていきたいと考えます。

問 駅前再整備に対する思いについて伺う。

答 駅前を単なる交通の通過点ではなく、町民が気軽に立ち寄って、子どもたちが集い、高齢者が安心して過ごし、観光客が洞爺湖町の魅力に触れながら少しでも長く滞在できる、そうした空間を目ざします。多くの課題については、町民や関係団体等と対話を重ねながら3ヶ年計画を基本とし駅前再整備の具体化を着実に進めて参ります。





誰しものが幸せを感じるまちづくり

大 屋 治 (令和会)

質問 1

洞爺湖町環境美化整備事業促進について

問 清潔で快適な環境は健康で文化的な町民生活が基盤である。とりわけ気候変動により動植物の生態系に変化が見受けられる。見解と対応を伺いたい。

答 温暖化などの気候変動により、スズメバチの女王蜂が越冬する確率が高まり活動時期が早まっている事、毒蛾の幼虫も越冬確率が多く、毎年市街地まで発生しているこの様な身近な現象からも、気候変動、温暖化の対策は必須である。近年の地球温暖化をはじめとする気候変動は地球規模にとどまらず、当町の自然環境にも影響を及ぼしている。外来種の定着・拡大による在来種の駆逐や昆虫・鳥類等生息域の高地移動など、単に個別動植物の生息環境が変わるだけでなく、長年保たれてきた生物間の相互関係のバランスを崩し、結果として

地球の生物多様性を揺るがす事態であると受け止めています。地域では固有の生態系を守ることは豊かな自然の恵みを次世代に継承するだけでなく、私たちの生活基盤や地域経済を維持する上でも不可欠であると考えています。今後としては、生物多様性の保全として生態系を脅かす特定外来生物の防除活動に関係機関と継続して行いながら、住民や来訪者への周知徹底と併せ、学校教育や地域コミュニティにおける環境教育、そして自然体験機会の充実を図って参ります。

問 動植物の生態系を回復するために、自然環境と生活環境の調和策を強化すべきと思うが見解を伺いたい。

答 私たちが豊かな生活を営む一方で、地域の貴重な生態系や自然環境を未来へ継承していくには、自然の保全と住民生活の向上、双方が調和し、相乗効果を生み出す視点が重要であると認識しています。人と自然が共生する持続可能な地域社会を作るには、

単に自然をそのまま残すだけでなく、日常生活や社会経済活動の中に自然の機能を組み込み、回復させていくことが大切だと考えてます。自然環境との調和を一時的なものとせず、地域の文化と根づかせるため、ネイチャーポジティブ(自然再興)の理念を広く共有していく必要があります。住民に対し、家庭の庭先での緑化や地域の自然に親しむ環境教育を通じて、自然と調和したライフスタイルの転換を促していきます。

問 生き生きとした花や木の花及び町の木の配布、花壇の増設など図るべきと思う。花壇コンクールを実施して洞爺湖町の美化に取り組んできた経過もあり元気な高齢者に任せ、生き甲斐対策にもなると思うが、町の考えを伺う。

答 現在、花いっぱい運動の取り組みの中で国道37号の植栽ますの他、自治会や町内サークル、各種団体、学校の花壇、商店街等を花いっぱいにする取り組みを進めている

ますが一部の団体からは高齢により花を植える事が難しいとの声もあり、町で取り組んでいるのは、あくまで公共施設、または主要な街路、道路沿いで花いっぱい運動という中での苗の提供していますが個人宅への花の苗の提供は予定していません。



私たちが住み続けたいと 思える町づくりのために！

小林 真奈美（日本共産党）



質問 1

蛇田中学校校舎移転に係る現状について

問 校舎移転スタートに当たり、子どもたちの学びの環境整備状況について伺う。

答 学校側から出された要望への対応については、児童生徒の学習環境の確保や学校運営に支障が生じることがないように、措置を講じてきたところです。今後の学校運営の状況などを学校側と随時共有し、既存予算の効率的な執行や今後の予算編成の中で順次対応できるよう調整を図ります。

問 トイレの洋式化と多目的トイレの設置について伺う。

答 昨年度中にすべてのトイレの洋式化を完了しています。多目的トイレ設置の必要性については十分認識していますが、現時点では設置に至っていない状況です。今後日常の教育環境の充実はもとより、避難所としての防災機

能の確保の観点も含め、関連部署と連携しながら適切なタイミングで設置できるように、検討、準備を進めます。



質問 2

令和8年度教育行政執行方針について

問 令和10年スタートに向けての小中一貫教育に関わって、取組状況と課題について伺う。

答 洞爺湖町教育研究所での本年度の研究活動を本格的にスタートさせ、7つの部会を設け、各学校の教職員が主体となつて、小中9年間を見据えた協議を進めています

また、地域や保護者とともに開校に向けた具体的な協議を進めるため、小中一貫教育導入開校準備委員会の設置を進めているところです。

現場における過度な負担にならないよう、今年度からスタートした業務量管理・健康確保措置実施計画に基づき、ICTやデジタル教材の活用による公務の合理化を進め、教職員が新たな授業づくりや子どもたちと向き合う時間をしっかりと捻出できるよう、働き方改革と一緒に取り組んでいきます。

質問 3

令和8年度町政執行方針について

問 洞爺湖版ライドシェアの実証実験の結果と今後の事業の取組について伺う。

答 12月から3月の4カ月間での運行日数は115日、利用回数は199回、1日平均の利用回数は1.7回、利用金額は59万6160円という結果です。今後の運行につ

いては、特に夜間の移動需要が多かった12月から2月にかけて、今年度も前回と同じ方式で運行を行い、夜間の交通空白の時間帯の解消に努めます。令和8年度については、国の補助は活用する予定はなく、町単独費で行いたいと考えています。





令和10年に向けて 道路整備が大事！

大久保 富士子（公明党）

質問 1

教育の充実とまちづくりについて

問 中学生と小学生の新しい学校生活がスタートしました。現状と問題点について伺う。

答 順調なスタートを切りました。課題として、校内の暖房設備やトイレなどの一部改善を要する環境上の懸念が挙げられる。

問 小学校校舎にて行われている、放課後児童クラブにおいて環境面の主な変更点及びその対応について伺う。

答 これまでと同等の環境を確保しております。体育館の使用については、部活動と放課後児童クラブが円滑に共存できるように活動エリアを明確に区分する運用を行っています。

問 放課後児童クラブを利用している保護者から運営のことも含め心配事や要望などがあるか伺う。

答 運営内容や支援員の対応につきまして、様々なご意見をいただいています。そうした声をしっかり受け止めるため満足度の調査などを行い具体的な改善に取り組んでいました。その結果、少しずつ良い変化が生まれてきていると感じています。



問 子どもの安全を見守る指導員が不足していると伺っているが、洞爺湖町の現状について伺う。

答 本年度は、募集範囲を町外に拡大し、3月の採用募集により必要人員の確保をすることができ、現在は必要な体制が整い安定した運営を図ることができています。

問 中学校が小学校校舎に移転して、小学校校舎に通学している生徒も増えていると思っています。そこで、児童・生徒の登校や下校時の通学路についての現状と課題について伺う。

答 中学校移転に伴う通学路に関する新たな課題はないと捉えています。今後とも関係機関等と連携を図りながら、児童生徒の安全な通学環境の維持に努めていきます。

問 令和10年度からは健康センター及び小学校周辺は当町の文教地域、子育て支援地域に想定されると思う。そこで今後の通園通学の児童生徒の安心安全のために通学路についての環境面の整備について町の考えを伺う。

答 教育委員会の見解は通学環境の変化として新たな問題が生じるものはないように認識しています。現在のところ、通学路の環境面の整備は考えていません。町では、これまで様々な角度から交通安全対策を通学路周辺で考えてきました。今後とも交通事

故が起きることがないよう注意喚起等を図ってまいります。交通量の増加が見込まれる、道道洞爺蛇田線の整備について町の考えを伺う。

答 町として子供たちの安全を第一に考え、必要があると判断したときには、実情に応じた安全対策を、関係機関、議会にご相談させていただきます。ともに活動してまいります。



子育て支援も大切ですが 高齢者にも寄り添う策を

五十嵐 篤 雄 (有志会)



質問 1

中東情勢に関連して町民や事業者への影響と対応について

問 石油やナフサの先行きが不透明な中で、物不足や価格高騰が大変心配です。町民生活や事業の継続に対する影響に関して、現状調査や状況の把握はされているのか。

答 日常生活においては、日用品や包装資材の値上げで家計や消費行動に影響があると認識しています。事業者の経営への影響は商工会でアンケート調査を実施しており実態把握に努め状況に応じて対策を検討したいと考えています。

問 商工会が行っている住宅リフォーム事業で、工事を請け負っても資材や部品等の入手が困難になる可能性が考えられるが、その状況の把握と対応について。

答 住宅リフォーム事業においても業種によっては入手困難や遅延などがありうる

と認識しています。商工会のアンケート調査後に実態を把握した上で対応したいと考えています。

問 当町ではごみ処理は指定ごみ袋を使用することになっていきます。不透明な中東情勢の中で在庫管理がしつかり行われているか。また、発注することになっても注文できるのか。

答 在庫管理については注文を受けた都度受け払い簿に記載して管理しています。発注については今年度は既に契約を締結しています。来年の9月までの分は確保しております在庫は十分と思っています



問 ゼロカーボンを宣言している当町にとって、この事業を推進していく意味でも車の利用を控えたりリユースなど削減できる指標を示しな

から提案されています。危機の時にこそ役に立つと思うが

答 化石燃料への依存度を減らす取組みは供給危機への備えになり、本町が目指す脱炭素社会の実現にもつながります。一人一人が身近にできることを周知したいと思っています。

質問 2

町政執行の4本柱の一つ、高齢者が元気に安心して暮らせるための具体策について

問 交通手段のない高齢者が公共交通機関を利用して医療を受ける時、当町や隣接市の医療機関を利用する場合実際のルートは。

答 虻田地区の病院を利用する場合、洞爺コネクタクシーが行きに3便帰りに3便運行があり利用できます。隣接市の医療機関を利用する場合、水の駅から道南バスやJRを乗り継いでいくことになります。すべての方からの要望には沿えませんが運行経

路や運行時間の見直しの検討をすることとしています。

問 健康づくりにおいては高齢者福祉の観点や社会教育の面からの取組があるが新しく取組むものは。

答 健康や生きがいづくりを目的に「いきいき学園」や社会福祉協議会と連携して「介護予防・地域ささえあい事業」を展開しています。ささえあい事業は9年度から地区を拡大して実施できるよう協議をしています。

問 高齢者が安心して暮らせるためには健康であり、生きがいの場があることですが、ある程度の収入も必要です。健康で働く意欲のある人が従来の団体や組織ではなく気楽に働ける場があれば元気で安心して暮らせるのでは。

答 高齢者の就労は地域貢献につながります。各課が持つ様々な分野の事業所との情報を密にしながら雇用に関する情報提供で就労の機会の支援に協力できればと考えています。



洞爺湖町の子どもたちが 豊かになる人間づくりを !!

石 川 諭

質問 1

A I時代における情報モラル教育と道徳教育の在り方について

問 当町の道徳教育は「何が善か」「なぜ他者を尊重すべきか」といった価値秩序そのものを主体的に考える力を含む内容となっているのか伺う。

答 各学校の道徳教育は道徳科に示されている22の内容項目には、善悪の判断や他者を尊重に準ずる指導内容がすべての学年に含まれており多様な意見に耳を傾け物事を多面的、多角的に考えて自身自身の生き方についての考えを深め、表現する活動を重視しています。また、日常の様々な活動の中で善悪を判断し、他者を思いやる場面を想定することで、人としてより良く生きるための判断力や主体的な倫理観を育む内容となっています。

問 文部科学省では生命の畏敬への念や崇高なものと

の関りも重視されている。当町ではこのような感受性が道徳教育や人間形成においてどのような意味を持つのか伺う

答 生命の畏敬への念や崇高なものとの関わりについて、これらは小中の9年間を通して道徳科の重要な指導項目で豊かな人間性や思いやりの心を育むための極めて重要な道徳価値の一つと捉えています。ともすると知識や技能の習得に偏りがちとなる現代だからこそ、目に見えないものへの感謝や命の尊さに感謝する心を育むことは、子供たちが情報の波にのまれず、人間としてよりよく生きるための確かな倫理観や道徳的判断力を育む人間形成の根幹として、極めて重要な意味を持つと考えています。



質問 2

子ども政策の適正化について

問 当町の子育て関連事業の成果として上げている保育所での完全給食とは何かを伺う。

答 三歳児以上の給食において令和8年度から保育所内で炊いた暖かいご飯を提供する完全給食を実施することと致しました。

問 何が子育て世代に本当に必要なかを見極めていくとあるが、町長の見通し、見解を伺う。

答 この10年間、国も自治体も出生率は低下を続けていますが、この結果をもって子育て支援の意義が失われるものではないと考えております。子育て支援の目的は安心して子供を産み育てることが出来る環境を整えること、子育て中の不安や孤立感を軽減すること、子供たちが健やかに成長できる環境を守ることこれが行政として果たすべき

大切な責任であると思います限られた財源で何が本当に子育て世代に必要なのか。何があればこの町で安心して子供を育てられるのか、何があれば若い世代がこの町に住み続けていただけるのかという視点を大切に取り組んで参ります。



町民が豊かな生活をおくれる町政を！！

板垣 正 人（公明党）



質問 1

令和8年度町政執行方針について

問 4つの柱①子供たちへの支援②高齢者の健康づくりや交通支援の強化③町民の暮らしを支えるための力強い経済の循環を生み出す④有珠山噴火や自然災害に備え危機管理体制を更に強固にする。とあるが具体的に何う。

答 ①については、出産祝い金の拡充、オムツの無償提供、保育料の完全無償化、高校生までの医療費助成、中学校入学時の制服・ジャージ支給を継続します。それと同時に、小中一貫教育と英語教育の充実を進めていきます。中学校の給食費無償化については、検討していきます。②の交通支援の強化については町民の皆様が使いやすいように、公共交通の体系を維持していくが利便増進計画をつくり、持続可能な公共交通を目指して行きます。③農業に対してはスマート農業の推進な

どです。また、水産業ではホタテ養殖支援や漁場の整備を進めて行きます。商工業、観光業等経済団体からは、毎年要望・提言がありますが、それらをしっかりと受け止めて、進めて行きます。また、好循環の創出につまましては、とうやコインを一過性ではなく進めて行きます。④については、国の補助事業を活用して避難所の環境向上に向けた取り組みを進めて行きます。また、コンビニエンスストア・物流会社・通信媒体等や伊達市・豊浦町・壮瞥町とさらに絆を強めて行きます。



質問 2

町税について

問 宿泊税対象事業者の数（地域別）を伺う。

答 全部で106施設です。

問 虻田地区14施設、洞爺湖温泉・月浦・花和地区に46施設、洞爺地区46施設となっています。

問 町は事業者に対してどのような説明と連携をとっているのか伺う。

答 2月に特別徴収事務に関する説明会を開催して、徴収事務の具体的な手続きや提出する書類と罰則のほか、期限を設けて申告するよう依頼しています。また、欠席されている経営者に対して、郵送にて周知を行なっています。

問 ふるさと納税制度改正で当町としての影響は。

答 寄付額に対する募集関連費用の引き下げと地場産品基準の変更です。また、返礼品の申請数は、当町では597申請していますが、10月の改正後は380申請になる

予定ですが、申請数の減少の割には寄付額への影響は少ないものと想定しています。

質問 3

町民の安全を守るための防犯活動について

問 防犯パトロール、こども110番の家等の現状について。

答 防犯協会の方々による青色回転灯による巡回パトロールや犬の散歩やジョギングの際の見守り活動等を行なっています。

問 防犯カメラの設置状況はカメラを増設すべきと思うが町の考えは。

答 設置箇所8ヶ所。令和8年度2ヶ所増設します。





健康アプリで地域支援を

越前谷 邦 夫（令和会）

質問 1

洞爺湖町成長戦略について

問 令和7年度末起債額と令和8年度の償還額は、

答 令和7年度末地方債の現在高87億3700万円。令和8年度予算見込み償還額約10億2200万円です。

問 しもみちニュービジョン（基本理念）令和8年度町政執行方針の中で洞爺駅前整備計画を一年間かけて計画策定。3年間で整備を図るようだが財源は、

答 インバウンド対策、オーバートーリズム対策、バス・タクシー等の乗車場所等整備する。基本計画策定後、官公庁の補助金を頂いての整備です。財源に限りがありますので今、キャッチボールしている状況です。鋭意努力させていただきます。

問 借金だけ膨れ上がって、子供・若い方々が借金を返済していくだけの行政であってはならないと思うが、

答 JR洞爺駅・JR・北海道と当然協議しながら、ハード・ソフト面合わせて整備計画を進めさせていただければと思っております。



問 全国的に関心を高めている健康アプリは、北海道では札幌市・旭川市・函館市・網走市で導入されており根室管内の別海町では元氣な高齢者に外へ出ていただくTポイント（てくてくポイント）を実施し、一日の目標達成ポイントをとめて飲食店利用・食品が当たる抽せん会等に参加できます。このような政策があつてしかるべきと思うが、

答 健康づくりアプリとデジタル地域通貨と町内消費支援を一体化した形かと思えます。洞爺湖町も地域デジタル通貨・とうやコインがありますので兼ね合わせていけるかどうか調整させていただきます。



問 総務省が25年10月1日時点国勢調査の速報値発表では、外国人含む日本の総人口1億2304万9524人20年の前回調査から309万6575人2・5%減少。北海道総人口498万5419人で前回調査確定値より23万9195人4・6%減少。洞爺湖町人口7826人で616人減少で人口減少が急速状況にある。人口数に見合った

公共施設等の在り方の展望と圏域行政（広域行政）を前進させるべきと思うが方向性を問う。

答 人口推計を考えると公共施設を広域的に広げ、必要なものは削っていく。相談させていただく施設幾つか出てきております。そういった点で広域も考えていくというのをしっかりと受け止めていきたいと思えます。

問 公共施設の在り方、利用状況等をチェックして整備を図り、民間貸与・廃止等の手法を取らないと町財政はもたなくなる。行政・議会・一般住民代表者による三者一体で現状調査が必要ではないか。

答 4年間の中で直接各施設を見て判断させていただきたいと思っております。行政・議会・町民代表者と一緒に行くのか、別々に行くのか担当者で協議させていただきながら検討する道筋はつけて行きたいと思っております。前向きに検討します。

議会の動き

5月

8日 会派代表者会議
12日 議会運営委員会
15日 令和8年5月会議（P2参照）
21日 全員協議会
25日 胆振管内議長会第1回定期総会
28日 例月出納検査
総務常任委員会
経済常任委員会

6月

2日 会派代表者会議
5日 議会運営委員会
9日 北海道町村議会議長会定期総会
令和7年第1回西胆振行政事務組合
議会臨時会

7月

15日 令和8年6月会議（P2～3参照）
15日 議会広報常任委員会
17日 議会運営委員会
17日 全員協議会
29日 例月出納検査
2日 議員研修会（札幌市）
7日 総務常任委員会
14日 議会広報常任委員会
17日 経済常任委員会
21日 全員協議会
23日 議会広報常任委員会
23日 議会運営委員会
31日 例月出納検査
令和8年7月会議

受賞

6月9日、札幌市で開催された第77回北海道町村議会議長会定期総会において、北海道町村議会議長会表彰規定に基づき自治功労者として、前洞爺湖町議会議長の大西智氏が受賞されました。（議長歴7年・議員歴15年）

北海道町村議会議員研修会

7月2日、札幌コンベンションセンターにおいて北海道町村議会議員研修会が開催された。洞爺湖町議会議員、全議員が出席をしました。

研修会では、関東学院大学法学部地域創生学科教授牧瀬稔氏による「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」及び経済ジャーナリスト須田慎一郎氏による「どうなる政治・経済～日本再生のために何が必要か～」と題した講演が行われました。

編集後記

初夏の風が心地よい季節となり、湖畔にも観光客の姿が増えてきました。令和8年6月会議は15日から3日間の日程で開催され、今会議では新年度の町政執行方針に対する一般質問が多く取り上げられました。

「これからの洞爺湖町をどう守り、どう育てていくのか」議員一人ひとりの質問の背景には、日々寄せられる町民の皆さまの声があることをあらためて感じています。

併せて、議員定数見直しの是非についても審議され、議会のあり方や住民代表としての役割が問われる機会となりました。

限られた紙面ではありますが、町民の皆さまの声を議会に、そして町政に届けられるよう、議場でのやりとりをできるだけ分かりやすくお届けするよう工夫をして参ります。

（石川邦子）

令和8年8月10日発行

編集・発行／洞爺湖町議会広報常任委員会

電話76・21221・直通74・3011

印刷 文栄堂印刷